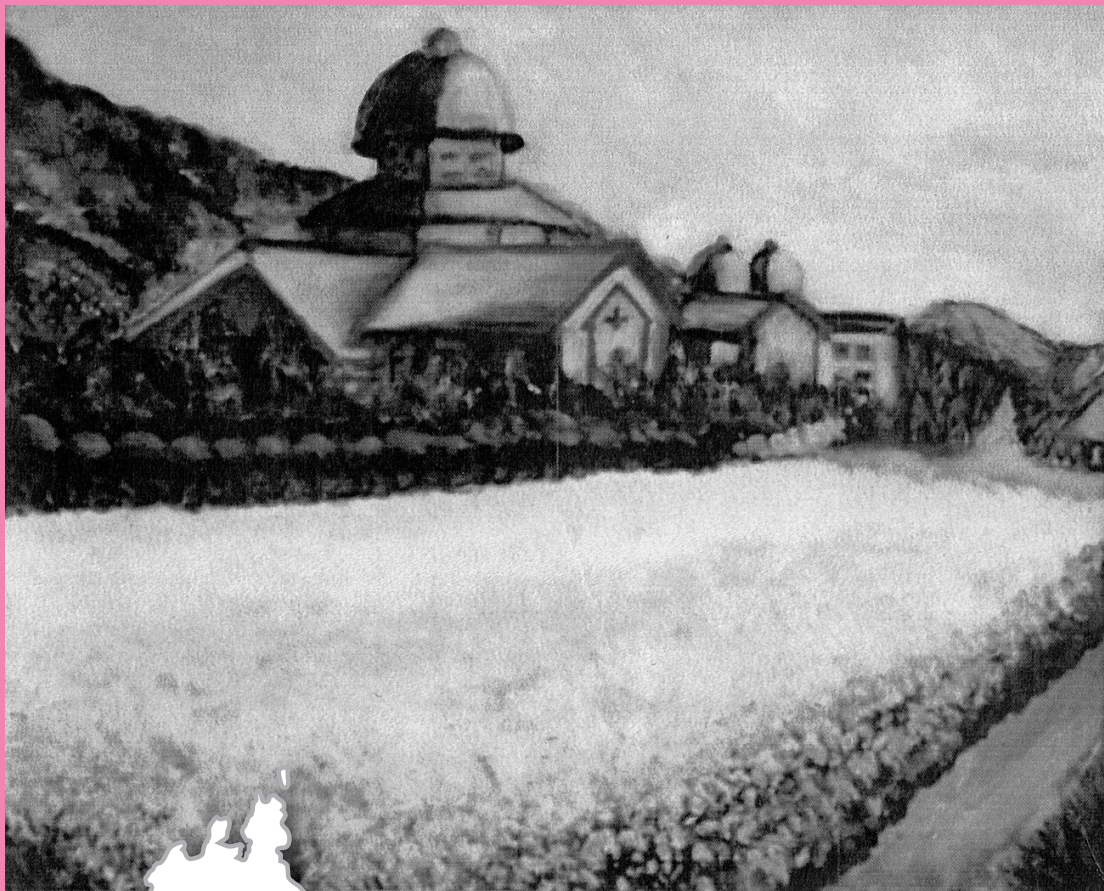
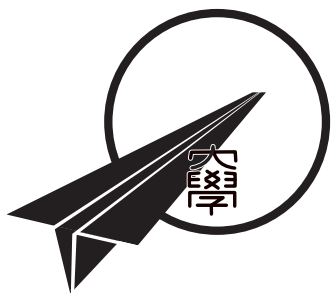


會 報

第 31 号



滋賀県レイカディア大学同窓会



滋賀県レイカディア大学校歌

レイカディア讃歌

(高城 修三 作詞)

- 一、 近江の最中 青き海
さざなみ寄せる軽き音
いつまでも尽きることなき
その思い ともに学ばん
さわやかに レイカディア
レイカディア
わがレイカディア
- 二、 青垣つらね鈴鹿比良
峰にたわむる白鳥の
いつまでも果つることなき
喜びを ともに遊ばん
うるわしく レイカディア
レイカディア
わがレイカディア
- 三、 淡海映す蒼き空
宇宙が見せる深き貌
いつまでも消ゆることなき
その真実 ともに生きなん
かぎりなく レイカディア
レイカディア
わがレイカディア

滋賀県レイカディア大学同窓会憲章

- 一、 互いに助け合い、高齢者社会を生きる資質と実践力を高めよう。
- 一、 心身の健康を保って、社会活動に積極的に参加し、高齢社会の支柱となって働こう。
- 一、 古き良きものを伝承し、新しきを生み出して、郷土社会の健全な発展に尽くそう。
- 一、 会員の研修及び母校の発展に寄与する活動を積極的、持続的に推進しよう。
- 一、 社会の発展に即応する高齢者像の具現のために励みあい、提携し合う輪を内外に広めよう。

平成六年七月十一日改定

滋賀県レイカディア大学同窓会

表紙絵画の説明 安土の郷 (あづちのさと) 油絵画 作者 27期文芸科 西村 満子
文芸の俳句会吟行に行き景色の綺麗さに感動しました。

目 次

滋賀県レイカディア大学同窓会 会長 堀江 勇 夫	1
滋賀県レイカディア大学 学長 渡 邊 光 春	2
滋賀県レイカディア大学同窓会 前会長 戸之洞 貞 夫	3
平成25年度 事 業 報 告	4
平成26年度 事 業 計 画	6
平成26年度 本 部 役 員	8
平成26年度 長寿者（白寿、米寿）慶祝.....	9
平成26年度 新入会員 抱負コメント	10
各支部のボランティア活動	13
各支部の会報の紹介	22
大津支部の活動紹介	40
レイカディア大学同窓会ホームページの開設について	42
会 員 だ よ り	43
編 集 後 記	45

滋賀県レイカディア大学 学名看板除幕式 草津校で挙行される

大学祭初日の8月20日午後1時30分より待望の「滋賀県レイカディア大学」の学名看板の除幕式が草津校で挙行されました。

2011年に在校生、卒業生にレイカディア大学に関するアンケートを実施した結果、多くの提案の中に「ここにシニアの大学が存することをお知らせする看板が必要」との意見があり、ようやく実現しました。

式は学長と内田総学科長の祝辞があり、その後、大学進入路右側の設置場所に移動し、学長、総学科長、同窓会・サポート隊の代表たちで幕の綱を引き、めでたく学名看板の除幕が行われました。

学名看板の設置により当大学が多くの方に認知され、地域リーダーの育成やシニアによるボランティア活動、地域活動等の活性化に寄与する事になるよう願うものです。





滋賀県レイカディア大学同窓会々長に就任して

滋賀県レイカディア大学同窓会 会長 堀江 勇 夫

会員の皆さま方には、愈々お健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

日頃はレイカディア大学同窓会運営とお住いの地域活性化のためご活躍を頂いておりますことに心から敬意を払い感謝を申し上げるところであります。

さて、私去る5月26日の同窓会本部総会におきまして、同窓会長に就任させて頂くことになりました。多士済々の諸先輩が綺羅星の如くおられる中で、元より浅学非才力不足ではございますが、就任させて頂いた以上は精一杯務めさせていただきますので、宜しくご指導ご鞭撻の上、お引き回し下さいますようお願い申し上げます。

さて、ご承知のとおり滋賀県レイカディア大学を取り巻く運営環境には大変厳しいものが有ります。本部同窓会のそれもまた同じ様相を呈しています。実情をしっかりと踏まえつつ抱えている課題の解決に向けて、些かなりとも皆様のご期待に沿えるよう微力を尽くして参りたいと思っております。

これから2年間に亘りまして役員ならびに会員皆様の暖かいご指導とご協力を重ねてお願い申し上げます。

同窓会本部として今年度の重点事業の推進と滋賀県レイカディア大学ならびに同サポート隊との連携事業を、以下の項目の実践を通じて果たして参りたいと思っております。

- ① 同窓会本部ならびに専門部会計画事業の成功を期すること。
 - ・何か新しいことに取り組む
 - ・進取の精神を根底に
 - ・事業部会の主体性を
- ② 同窓会本部に「新風を吹き込む取り組み」を実施すること。
 - ・新入会員の意見の取り入れ
 - ・ボトムアップを根底に
 - ・新規事業を立ち上げる
- ③ 同窓会本部活動と支部会活動の違いを見出し・生かすこと。
 - ・屋上屋を重ねない
 - ・各種会議時に支部会報告を必須議題とする
- ④ 同窓会広報誌「會報」を刷新して、2年間に（第31号・第32号）を発行すること。
 - ・活動報告に重点を置く
 - ・各支部機関誌のダイジェスト版を必須掲載する
- ⑤ 同窓会本部常任理事会・理事会・専門部会の連携を密にすること。
 - ・通知文書はe-Mailを活用
 - ・議事録は速やかに作成配布する
 - ・関係者間の良好な通風を
- ⑥ 組織活性化委員会(解散済み)の提言を尊重し組織の在り方に反映させること。
 - ・規約の改正に取り組む
 - ・予算の執行と管理を強化する
 - ・事業費を拡充し管理費を圧縮する
- ⑦ 同窓会HPの内容充実に努めること。
 - ・HP担当部署の充実改善
 - ・HPを本会で独自運営とする
 - ・「會報」をUPする
- ⑧ 魅力有る同窓会活動とは・・・を、何時も念頭に置きながら衆知を形にすること。
 - ・会議は効率化し実践を重視する
 - ・支部間交流事業を支援する
 - ・同窓会入会率の向上を図る

それぞれの同窓会支部の規模と意識の温度差を乗り越えて、同窓会活動の活性化が図れるように、会員の親睦を図りつつ一致協力して、新たなる同窓会本部の在り方を探ってまいります。

その結果として卒業生の同窓会入会率の向上に繋げ、滋賀県社会福祉協議会レイカディア振興運営に寄与していければ幸いです。

終わりになりましたが、会員皆様のますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、就任のご挨拶といたします。



世界一の長寿の国として

滋賀県レイカディア大学 学長 **渡 邊 光 春**

滋賀県レイカディア大学同窓会會報第31号の発刊にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にて日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。また日頃より本学の運営につきましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、厚生労働省の調査によりますと、わが国の平均寿命は、男性80.21歳、女性が86.61歳で、いずれも過去最高を更新するとともに、男性が初めて80歳を超えました。国際的な比較では、女性が2年連続世界一、男性は前年の5位から4位に上がりました。男女合わせた平均寿命は84歳で、世界一の長寿の国となりました。これは、たいへん喜ばしいこととございます。

この平均寿命が延びた理由の一つは、医療技術の向上があげられますが、最近の研究によりますと、人生を前向きに考え、仲間をつくって地域活動や趣味活動、スポーツ活動などに参加して社会とのつながりを持っている高齢者は、より健康で長生きすることが科学的に証明されつつあります。つまり、「健康・生きがいづくり」と呼ばれる活動によって、我々の健康寿命はより一層延びる、というふうに見えるかと思えます。

このようななか、同窓会の皆様は、長年にわたり、それぞれの地域の方々との交流の輪を拡げながら、この「健康・生きがいづくり」につながる多くの活動を着実にすすめてこられました。まさに長寿の国にふさわしいご努力、ご見識に対しまして深く敬意を表するものでございます。

私も学長に就任いたしましてはや2年目を迎えることとなりましたが、世界一の長寿の国だからこそ、年齢を重ねるたびに、より一層生きがいのある日々や幸せな暮らしへと優しく橋渡しをしてくれる、そのような地域の担い手を今後も輩出してまいりたいと思えます。そのためにも、長寿国のなかにあつて期待される大学、存在意義のある大学をめざして更に邁進する所存でございます。

つきましては同窓会の皆様には、今後とも、大所高所から貴重なご意見やご提言をいただき、今後も本学をより一層お支えいただき、ご協力を賜れば誠に幸いです。

最後になりましたが、同窓会の今後のますますのご発展と会員皆様のご健勝ご多幸を祈念いたしまして、発刊に寄せてのご挨拶といたします。



退任のご挨拶

滋賀県レイカディア大学同窓会 前会長 戸之洞 貞夫

会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝で、地域の担い手としてご活躍やご精励のこととお慶び申し上げます。

この度は、歴史と由緒ある同窓会の「曾報第31号」の編纂にあたり、寄稿の栄をお与え頂き誠に有難うございます。

私事

平成26年本部定期総会の開催を機に会長職を辞し、第9代の新会長として新進気鋭と熱情溢れる、堀江勇夫氏にバトンタッチさせて頂くことになりました。

顧みますと平成16年、湖北支部長に就任も束の間、本部常任理事として爾来、本年度までの10年の間に、「総務部長」職を2年1期務めさせて頂いた後、「副会長」職に就任し、その間、「会計」を1期2年、更に二度目の「総務部長」職を歴任の後に、平成22年の定期総会の席上、第8代？会長（2期4年）の要職にご推挙をいただきました。この間、会員の諸兄姉より叱咤激励のお言葉に接し、役員各位より賜りましたご指導やご支援、ご協力に対し、紙面からではありますが、衷心より厚く御礼を申し上げる次第で御座います。ありがとうございました。お陰様で浅学非才の身ではありましたが、神聖なる同窓会の要職を全身全霊で事に処し、大過なく（といえは語弊がありますが？）全うできました事は喜ばしい限りであります。

今、過ぎし10年を回顧するとき、三つの大きな出来事がありました。記憶も定かではありませんが、平成21年の秋、県財政の悪化を理由に嘉田知事より突如、レイカディア大学の休止問題が提起され、数多くのレイ大関係者にとっては将に晴天の霹靂（へきれき＝突発的な変事）であり、同窓会も含めてレイ大の将来に禍根を残すようなドラステックな問題が惹起しました。当時、在学生はもとより同窓生や県民の皆様方とも連携しながら、知事さんや県議会議長さんに面会を求めて、継続の嘆願や陳情に何度も足を運んだ覚えがあります。また、県社協でも善後策を講じるために「再編検討委員会」が設置され、各界より選ばれた委員と共に、勿論、同窓会も参画して意見の反映に努めた結果、翌年の春には運営内容にはかなりの修正が有り、不満足ながらも「継続」の朗報がもたされて、まったくご同慶の至りで安堵いたしました。

昭和55年に設立された同窓会は、平成24年に創立30周年を迎える事となり、長寿社会福祉センターで県庁や県社協の関係者および、同窓会顧問・相談役をお迎えして厳粛に記念式典を開催しました。特筆は、各支部より芸達者な会員によるアトラクションが披露され、会員の幅広い芸能活動が賞賛されました。他の記念事業は、会員への記念タオル配布や「曾報」特集号の発刊などを行い、節目を飾ることが出来たことは幸甚でした。

レイ大同窓会に対する帰属意識の調査等は、過去には多分行われていないのではないかと存じますが、30周年の節目を機に新しい事業として、全会員の皆様方に「アンケート調査」を実施させて頂き、1,200名余りの方々よりご回答をいただきました。課題や提言は多くありましたが、同窓会に対するニーズの把握につとめ、事業と組織活性化の集大成を目論見ながら、活性化対策委員会を立ち上げて折々検討や変更を行って参りました。

最後に、微力で我田引水ではありますが、同窓の縁と絆を一層深めながら同窓会の更なる発展に真摯に尽力出来ましたのも、これ偏に会員皆様方のご支援・ご協力の賜物と深く感謝いたして居ります。

末筆ではありますが、会員皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、御礼のご挨拶といたします。有り難う御座いました。

平成26年度 総会開催される

平成26年5月26日 滋賀県長寿社会福祉センター

第1号議案

平成 25 年度 事業報告

I. 総 括

平成24年度に同窓会組織活性化対策の一環として、1,800余名の全会員を対象とした「アンケート調査」を実施し、1,185名（回収率66.8%）のご協力が得られた。

今年度、活動の基本的な指針は「アンケート調査」に基づいた検討を行うことが最重要課題であることに鑑み、会員の皆様方より戴いた貴重なご意見やご提言を重視して、組織の在り方や活性化対策について数回にわたり既存の組織活性化対策委員会を開催し、当面の事業推進について検討を加え、その方向性や改善策について協議を行った。

- (1) 「同窓会への入会、退会の現状分析と方策」
- (2) 「本部定期総会の在り方」
- (3) 「会計予算（費目別）の検討と、予算金額等の検討」
- (4) 「組織の在り方」

II. 具体的な活動内容

開 催 日			事 業 の 概 要
25/4	11	木	第1回常任理事会 （於：長寿社会福祉センター 第2研修室） ①本部定期総会議案の素案審議（第1号～第5号議案） ②総会進行手順等の確認
			第1回理事会 ①本部定期総会上程議案の審議・承認
5	7	火	定期総会議案書作成作業（200部）
5	10	金	平成25年度本部定期総会 （於：長寿社会福祉センター 第1研修室） 〈担当支部 甲賀・湖南支部〉 総会出席会員数（参加者93名） ①ご来賓 レイカディア振興部 宿久部長 ②功労者表彰9名、白寿・長寿慶祝者39名 ③総会議長 倉田 紘一郎氏（甲賀・湖南支部） ④第1号～第5号の議案関係は質疑応答の上全ての議案が承認された ⑤アトラクション 「バンド演奏 楽団ワイワイ」
			第2回常任理事会 （於：長寿社会福祉センター 第2～第4研修室） ①平成25年度事業計画の詳細検討及び推進について ②各専門部長、部員の承認 ③年間スケジュールの選定（各専門部会開催日程含む） ④アンケート等提言内容の検討（組織活性化対策委員への提言内容も含む）
6	15	土	第2回理事会 上記①～③の内容につき承認及び、専門部会ごとに分かれ協議
			米原校第1回大学祭 場 所 滋賀県立文化産業交流会館
《7/23(火)～7/25(木)》			

7	22	月	第3回常任理事会 （於：近江八幡市ひまわり館） ①必修講座参加者の動員計画 ②34期生入会促進と日程調整及び入会配布物の内容検討 ③36期生の応募状況と今後の協力体制について
7	26	金	草津校必修講座聴講 （参加者29名） 講師 佛教大学歴史学部教授 八木 透 氏 テーマ 「民俗学から見た日本の家族 ～夫婦と親子の今昔～」
8	9	金	米原校必修講座聴講 （参加者39名） 講師 滋賀医科大学特任教授 宮崎 総一郎 氏 テーマ 「脳に効く睡眠学」
8	9	金	草津校・米原校 第34期生入会説明会
《8/21(水)～8/23(金)》			草津校第2回大学祭 場 所 県立長寿社会福祉センター（草津校）
8	31	土	34期生新規入会申込受理 （卒業生144名中、加入者121名＝84.0%） （草津校112名/89名＝79.5%）・（米原校32名/32名＝100%）
10	1	火	第4回常任理事会 （於：長寿社会福祉センター 第1研修室） ①第15回親善グラウンドゴルフ大会の細部検討と承認 ②会計中間報告の承認 ③會報発行進捗状態の把握と、事業活動全体のスケジュール確認
			第1回組織活性化対策委員会 ①4項目の課題把握 <u>別添資料参照</u> ②ワークショップ形式による討議、検討
12	9	月	第5回常任理事会 （於：長寿社会福祉センター 第2教室） ①雨天順延によるグラウンドゴルフ大会の日程調整 ②「地域活動事例発表会」についての調整等 ③會報第30号 作成作業(手作業による発行)の実施
12	20	金	會報第30号の発刊 （2,200部）定期総会議案内容を記載《抜粋》 草津・米原両校の学生及び関係先にも配布
26/1	10	金	第2回組織活性化対策委員会 （於：長寿社会福祉センター第1研修室） ①先に討論内容の全体把握と常任理事メンバーとの合同会議
1	24	金	25年度「地域活動事例発表会」 （於：近江八幡市ひまわり館） ①午前・午後に分かれ、9支部中8支部（湖北支部辞退）により事例発表を行う（参加者134名） ②今回より現役学生にも聴講呼びかけ（21名参加）
2	10	月	第6回常任理事会 （於：長寿社会福祉センター 会議室） ①活性化対策委員会よりの提言に対する最終確認と意見の集約 ②びわこシニアネットへの情報発信
3	24	月	第7回常任理事会 （於：長寿社会福祉センター 陶芸教室） ①26年度議案書の審議と功労賞・米寿慶祝者の承認 ②定期総会スケジュール等の決定

第3号議案

平成26年度 事業計画

I. 活動の基本的方針

「縁」あって同窓のよしみで結ばれ、「絆」を深め合いながら30数年の歴史と伝統に培われたレイ大同窓会も、いろいろな課題が提起され一種の転換期に差しかかっている。

組織を守り育て、更なる発展を希求するために「いま、何をすればよいか?…」と、問われているのが現実であり、会員個人が夫々の温度差を払拭することが今こそ肝要である。

今年度は、同窓会創立33周年を迎える節目の年でもある。活性化対策の基本方針に基づいて、栄光の歴史をさらに発展させ、「燦々(33年)」と輝いて、会員に親しまれ、生きいきとした組織と魅力のある同窓会づくりを推進するため、活性化対策の具現化を意図して事業計画を策定する。

1. 組織活性化対策に基づく検討課題

- (1) 事業の見直し等による「会則」の一部改廃の検討と実施
- (2) 経費圧縮対策(本部予算)の積極的な検討
- (3) 同窓会の情報発信のあり方について

2. 事業の活動計画

- (1) 大学側との連携による母校のPRの強化
- (2) 支部活動の充実強化により会員減少策の構築
- (3) 在校生との交流を深め、同窓会入会への積極的な推進とフォローの実施

3. 事業の継続活動

- (1) 本部定期総会の開催
- (2) 地域活動事例発表会の実施
- (3) 「會報第31号」の発刊と編集内容の検討
- (4) 「グラウンドゴルフ大会」の開催
- (5) 「サポート隊」への支援体制の継続
- (6) 一人でも多くの応募者が入学に結び付くよう積極的な役割を果たす
- (7) びわこシニアネットの活用による同窓会ニュースの的確な情報発信

4. 常任理事会、理事会等の諸会議の開催

- (1) 頻度、時間等の効率的な会議の進行に努める

II. 各部の活動計画

総務部

- 1 平成26年度本部定期総会の開催 (担当支部 大津支部)
 - ① 平成26年5月26日(月) 於:長寿社会福祉センター
 - ② アトラクション 「マジックショウ」
- 2 第15回親善グラウンドゴルフ大会の開催 (担当支部 甲賀・湖南)
 - ① 開催予定日
 - ② 開催場所 竜王町内「ドラゴンハット」
 - ③ 開催要綱の見直しと、参加費の徴収
 - ④ 母校学生へ参加の呼びかけ

研修部

- 1 「第7回 地域活動事例発表会」の開催
 - ① 草津、米原の単独開催とせず、統一開催とする
 - ② 開催時期 1月下旬頃
 - ③ 在校生に対する傍聴の積極的な呼びかけ
- 2 「必修講座」の聴講の開催
 - ① 講義内容 開催日時は大学側と事前調整
 - ② 開催時期 7～8月頃

広報部

- 1 「會報 第31号」の発行
 - ① A4版サイズの定着化と平易で読みやすい誌面作り
 - ② 印刷経費の圧縮と内容のコンパクト化
 - ③ 母校、同窓会の情報の発信

平成26年度 本 部 役 員

《滋賀県レイカディア大学同窓会》

役 職	氏 名	専門部会	支 部	卒期/学科
相 談 役	奥 村 常治郎		(草津・栗東支部)	17/ 文芸
顧 問	戸之洞 貞 夫		湖北支部	20/ 生活
会 長	堀 江 勇 夫	広報部長	中部支部	30/ 地文
副 会 長	増 田 泰 男	総務部長	大津支部	23/ 園芸
	松 本 寿 一	研修部長	湖東支部	31/ 園芸
事務局長	増 田 泰 男		大津支部 (兼 任)	23/ 園芸
会 計	辻 純 男	総務部	近江八幡支部	30/ 園芸
常 任 理 事	佐 瀬 章 男	広報部	大津支部長	25/ 生活
	谷 口 岩 人	研修部	草津・栗東支部長	26/ 生活
	加 藤 英 昭	研修部	守山・野洲支部長	26/ 園芸
	橋 本 元 夫	研修部	甲賀・湖南支部長	23/ 園芸
	辻 純 男		近江八幡支部長	30/ 園芸
	安 井 武 市	総務部	中部支部長	29/ 園芸
	松 本 寿 一		湖東支部長	31/ 園芸
	桐 畑 実	総務部	湖北支部長	24/ 生活
	足 立 清 勝	総務部	高島支部長	32/ 園芸
理 事	増 田 泰 男		大津副支部長	23/ 園芸
	勝 田 幸 三	研修部	大津副支部長	29/ 文芸
	目 崎 顕 式朗	研修部	草津・栗東副支部長	26/ 文芸
	西 村 満 子	広報部	草津・栗東副支部長	27/ 文芸
	高 野 克 男	総務部	守山・野洲副支部長	32/ 生活
	中 山 幸 夫	広報部	守山・野洲副支部長	30/ 地文
	植 西 偉 文	総務部	甲賀・湖南副支部長	28/ 陶芸
	奥 本 静 子	広報部	甲賀・湖南副支部長	31/ 生活
	荻 原 正 博	広報部	近江八幡副支部長	32/ 陶芸
	田 巻 浩 子	研修部	近江八幡副支部長	28/ 文芸
	三 野 良 雄	広報部	中部副支部長	31/ スポ
	堀 江 勇 夫		中部副支部長	30/ 地文
	百 田 勝 彦	研修部	湖東副支部長	32/ 地文
	宇 野 幸 彦	広報部	湖東副支部長	31/ 陶芸
	増 田 澄 男	広報部	湖北副支部長	34/ 園芸
田 中 直 夫	総務部	湖北副支部長	31/ 園芸	
櫻 井 幸 男	研修部	高島副支部長	34/ 園芸	
監 事	国 松 功		草津・栗東支部	25/ 園芸
	小 泉 一 夫		草津・栗東支部	23/ スポ
(幹 事)	宿 久 博 康		レイ大振興部長	
	瀧 本 知 佳		レイ大米原校指導員	
HP 担 当	教 野 弘 孝	広報部	草津・栗東支部	32/ 陶芸

平成 26 年度 長寿者（白寿、米寿）慶祝

受賞者氏名	所属支部	卒校	卒期	学 科	生年月日
平 尾 勘一郎	大 津	草津	12	園 芸	昭和 2 年 1 月 2 日
古 田 頼 子	大 津	草津	23	生活科学	昭和 2 年 3 月 9 日
水 島 義 信	大 津	草津	24	園 芸	昭和 2 年 7 月 7 日
橋 本 宏 一	大 津	草津	16	陶 芸	昭和 2 年 9 月 13 日
藤 井 周三郎	大 津	草津	25	文 芸	昭和 2 年 9 月 24 日
東 出 昌 子	守山・野洲	草津	16	文 芸	昭和 2 年 2 月 6 日
遠 藤 岩 一	草津・栗東	草津	15	陶 芸	昭和 2 年 9 月 24 日
藤 川 一二三	甲賀・湖南	草津	12	園 芸	昭和 2 年 4 月 9 日
城 宏 衛	甲賀・湖南	草津	17	文 芸	昭和 2 年 11 月 5 日
堀 多喜男	甲賀・湖南	草津	23	園 芸	昭和 2 年 11 月 28 日
西 野 廣 治	近江八幡	米原	11	園 芸	昭和 2 年 10 月 30 日
岩 崎 進	近江八幡	草津	15	文 芸	昭和 2 年 1 月 7 日
竹 山 芳 子	近江八幡	米原	23	園 芸	昭和 2 年 4 月 15 日
藤 居 和 子	湖 東	米原	19	生 活	昭和 2 年 1 月 2 日
前 川 市治郎	湖 東	米原	20	スポレク	昭和 2 年 1 月 17 日
鈴 木 昭 雄	湖 東	米原	14	文 芸	昭和 2 年 3 月 25 日
野 神 雄 三	湖 東	米原	15	文 芸	昭和 2 年 12 月 12 日
森 野 久 章	湖 東	米原	17	園 芸	昭和 2 年 12 月 12 日
大 村 照 子	湖 北	米原	15	生活科学	昭和 2 年 1 月 12 日
江 竜 昭	湖 北	米原	20	園 芸	昭和 2 年 1 月 29 日
三 輪 幸 江	湖 北	米原	20	文 芸	昭和 2 年 2 月 10 日
小 森 勝 子	湖 北	米原	11	文 芸	昭和 2 年 2 月 20 日
宮 澤 ます江	湖 北	米原	12	生活科学	昭和 2 年 3 月 13 日
辻 昭 二	湖 北	米原	11	文 芸	昭和 2 年 3 月 24 日
高 山 正 二	湖 北	米原	24	文 芸	昭和 2 年 3 月 30 日
吉 持 操	湖 北	米原	18	文 芸	昭和 2 年 5 月 21 日
藤 島 光 則	湖 北	米原	12	園 芸	昭和 2 年 6 月 30 日
吉 田 芳 子	湖 北	米原	20	文 芸	昭和 2 年 7 月 10 日
溝 口 清 栄	湖 北	米原	20	文 芸	昭和 2 年 7 月 20 日
木 村 彰	湖 北	米原	23	園 芸	昭和 2 年 8 月 6 日
中 川 光 子	湖 北	米原	23	文 芸	昭和 2 年 8 月 23 日
服 部 日出男	湖 北	米原	15	園 芸	昭和 2 年 9 月 10 日
石 田 光	湖 北	米原	21	生活科学	昭和 2 年 10 月 9 日
藤 田 つゑ子	湖 北	米原	17	生活科学	昭和 2 年 10 月 23 日
吉 持 文 人	湖 北	米原	21	園 芸	昭和 2 年 12 月 20 日

新入会員 抱負コメント

35期入会者の「私の一言」

❀ 大津支部

園芸B学科 相井 征夫

レイカの2年間は、今まで知りえなかった園芸に関する知識・技術を学ぶことができ、また人との新しい出会いと交友が生まれ、人生の新しいひとコマが増えたように感じています。

陶芸学科 長谷川 孝徳

石山寺と瀬田川に魅せられて大津に転居して三十年余りになります。
レイ大で学んだ事と趣味を活かした地域活動に取り組み、健康で楽しい老後を送りたいと考えています。

びわこ環境学科 野村 幸司

びわこ環境学科で学びました。地球温暖化は我々の日常生活にも深刻な影響を及ぼしています。次世代のために、身近な省エネから、国のエネルギー政策まで幅広く関心を持ち続けたいと思慮します。

健康づくり学科 寒川 良子

健康づくり学科に入った目標が学びや実践を通しその集大成を「健康寿命を延ばす」の課題学習報告書に表すことができ、これを目標達成と見て、嬉しく思っています。

びわこ環境学科 初田 茂

友達が欲しい、出来るなら女性がいいと、動機不純の入学。在学中にレイカ卒業生と意気投合、老いらくの恋を実践。二人合わせて137歳。習うのは楽しいが、実践はもっと、もっと楽しい。

健康づくり学科 福永 勲

レイカで習ったストレッチ、筋トレを継続して体力の維持を心がけ、くよくよせず、健康寿命を延ばす努力をしていきたいと思っています。

地域文化学科 黒田 喜夫

70歳の退職を機に、レイカディア大学に入学させていただき、2年間31名の仲間と近江の歴史と文化等を学ぶことが出来ました。これからも、よき友と楽しく活動していきたいと思っています。

健康づくり学科 横山 ミサオ

子供の頃から風邪ひとつひかず生活してきた私、38才の時脳血栓で倒れて、薬を飲み続けて30年余り、でも心まで折れる事なく前向きに生きてきた私、私の人生の指針『桜梅桃季の劇を舞いわけ』私 私らしく今できる事に挑戦しようと今生きています。

園芸B学科 久保和巳

農家の息子でありながら野菜作り等の園芸には興味がなく退職後はテニス三昧と企んでましたが、先輩に勧められレイ大に入学しました。今ではボランティアもする様になり変身した様です。

地域文化学科 上村恒雄

あっという間の2年間でした。授業内容は「まあまあ」でしたが、いろいろな方との出会いがよかった。今後も悠々自適で気楽に「今を生きる」ことを考えています。

地域文化学科 中山敏夫

レイカディア大学では、多くの仲間・知識を得ることができ第二の人生への羅針盤を得た思いです。今後はこれらを大切に、”Simple is Best”の精神で進んでいきたい。

陶芸学科 作見 壽

レイ大では陶芸科で学ばせて頂きました。卒業後も陶芸教室同好会で作陶を楽しんでいます。又、レイ大のクラブ活動では、きり絵を教えて頂き、今も暇を見て、きり絵を作成しています。会社リタイア後始めた、複数のボランティア活動に参加させて頂くと共に、仏道にも勤めています。

9月11日の卒業式の席で思ったこと

園芸B学科 武川忠男

在校生の送辞を拝聴していた時 半世紀以上も前の小学生の時に読んだ送辞の言葉でした「長い長い冬が過ぎてようやく春めいてまいりました今日この頃です…」最後まで覚えていました
今の私は昨日のことも順を追ってたどらないと思い出せない今日この頃です しっかりしないと・・・

園芸A学科 寺崎博文

家庭菜園の野菜をうまく作りたくてレイカに入学しましたが、今ひとつ上達していません。先日は、大津祭りの曳山に参加し、貴重な体験をさせて戴きました。

園芸B学科 石垣昌枝

剪定の基本、草花の管理などを教わり、実習での寄せ植え、ハンギングバスケット（ダメにしたものもありますが）クラスの人から頂いた花苗、多肉植物、押し木など自分も気に入った草花を楽しんでいます。ボランティアも出来る範囲で関わられたらと思います。よろしくお願いします。

園芸A学科 磯田孝潤

レイ大を卒業してほっとしているところです。長いような短いような2年間があっという間に過ぎました。

新しい友達ができただけで何よりの収穫でありました。園芸とは名ばかりで真剣に勉強したとは言いがたい、ただ地域のボランティアに曲りなりにも参加できていることは自分自身にとっても得難い経験であります。

世間の人様なみの社会奉仕が続けられるよう頑張りたいと思います。

「大切にしたい時間」

健康づくり学科 安達 和子

山川草木から発するエネルギーを感じられた時。合唱していて皆とひとつになれた時。いろんな場面で一人一人が笑顔で生き生きとされているのを見ている私。



高島支部

感謝！感謝！

園芸学科 栗原 善一

園芸関係全般に加えて、これからの人生の過ごし方をも学んだこの2年間、それに地域と年齢の異なる良い仲間にも恵まれた学生生活では計り知れない楽しいものが有りました。

抱負

園芸学科 杉本 健一

レイカディア大学での2年を無事終え、高島支部同窓会に加えさせて頂くことができました。これからは、また新たな気持ちで今迄学んだ事が活かせる様に微力ですが皆との繋がりを大切に活動していきたいと思っています。

入会の抱負

園芸学科 清水 良秋

大先輩に進められて入学し、何とか卒業できました。2年前、地域活動に初めて参加させて頂きました。非力な者ですが、事情が許す限りレイ大で学んだ事を続けて行ける様にと考えています。

抱負

園芸学科 楯 進

レイ大の2年間は本当に楽しく、有意義な2年間でした。今後、ボランティアや地域活動に参加したく高島支部入会しました。よろしくお願ひします。

各支部のボランティア活動



大津支部

大津まちなかスッキリ士隊の活動紹介

地域活動部長 門 間 正 憲

大津支部では大津市都市計画課に登録して、違法広告物の除去活動を進めており毎年の活動で市内美化に協力しています。昨年は「古都指定10周年」記念行事で市長より感謝状を受けました。当面の活動

大津まちなかスッキリ士隊

1-1 全団体一斉除却作業に参加 9月2日(火) 下段参照

本年も9月1日から10日の全国「屋外広告物適正化旬間」に合わせて行われました。15名の参加でご苦労様でした。

1-2 「スッキリ士隊資格者」取得講習会の開催決定

新入会員の皆さん是非受講しましょう！

支部では大津市景観づくり推進活動に参加し、各地域で年2～3回の除去作業を実施し成果を積み上げています。6月現在83名の資格者です。未資格の会員及び新会員の皆さんもこの機会に資格をとって活動に参加してください。

・日 時：平成26年11月26日(水) 10時～11時30分

・会 場：中老人福祉センター 打出浜1-5 TEL 526-2752

・講 師：大津市都市計画課

申込は地域活動部・地域相談役に連絡ください。

「大津まちなかスッキリ士隊」一斉除却活動の報告

大津支部 25期 生活学科 佐 瀬 章 男 (瀬田北)

1. 日 時：平成26年9月2日(火)10:00～12:00 2. 集合場所 唐橋公園

3. 対象地域：瀬田地域(瀬田川沿いの東側地域)

4. 実施内容：2つのグループに分かれ電柱に貼られている違反広告物のはり紙の除去活動

大津市の都市計画課から上記の内容で関係団体に参加を要請され、当日は大津支部より17名の会員が参加しました。毎年9月1日～10日の間、全国的にこの活動が展開されており当支部も要請に応じて毎年活動していますが、今年は久しぶりの好天に恵まれて残暑の厳しいなかでの活動となりました。

開会式での挨拶に続き活動用具の点検チェックの後、当会は大津衛生社、滋賀銀行、関西電力との合同チームで出発し、JRの線路より北側の玉野浦から東レ瀬田工場西側の大江1丁目を巡回し、10数枚の違反広告物の剥ぎ取り作業を進めました。10時から11時30分の暑い中参加頂きました会員の皆様、ご協力を有難う御座いました。





守山・野洲支部

私たちのボランティア活動の紹介

レイ大同窓会守山・野洲支部

成人病センターボランティア園芸グループ 26期 園芸学科 田中正樹

私たち成人病センターボランティアの園芸グループは成人病センターの中庭（ふれあいガーデン）の木々や草花の手入れを始めて13年目になります。

最初は雑草の生い茂った日本庭園でしたが、4名で雑草を抜き、縁石で回遊道を作ることから始めました。今ではメンバーも12名（うちレイ大卒は26期から32期までの5名）となり、毎週火曜日に和気藹々に活動をしています。

主な活動内容は次のとおりです。

- ・ 中庭の木々と草花の手入れ
中庭に植える四季折々の花々の選定から植付け、水やり雑草の手入れ
木々の手入れ（クロガネモチ、もみじ、サザンカ等の剪定）
- ・ 院内の観葉植物の管理
玄関ロビー、各外来受付、病棟各所の観葉植物の設置、水やり等
- ・ 正面玄関ロータリーの芝生の管理
刈込と水やり
- ・ 緩和ケア病棟の植物の管理



花々を育てるのが得意な人、木々の剪定が得意な人などいろいろなメンバーで構成されておりますが、特にレイ大卒の仲間が中心的存在となって活動しています。

最近は活動の内容も豊富になり、庭の花々や木々も充実してきました。春夏秋冬それぞれの季節にあった花を咲かせ木々を手入れしています。

我々が手入れした花や木をご覧になった患者さんやその家族の方々に、憩いと安らぎを感じていただけるようにこれからも頑張っていくつもりです。

中庭は病院の立て替えに伴い2年後には全面造り替えになる予定ですが、新しくなったガーデンでもまた新しい活動を続けていくつもりです。



近江八幡支部

私たちのボランティア活動

近江八幡支部 27期 生活科学学科 大野田 眞

活動団体：市民・生ごみリサイクルプロジェクト

活動の目的として、家庭で発生する生ごみ（水分率80%）を有用な微生物で発酵させ堆肥化することにより、生ごみ燃焼によるコストや環境負荷を低減して安全・安心な農作物作りを推進する。生ごみを有効な資源として再利用することで、環境にやさしい循環型地域作りにも役立ちます。

活動のメンバーは代表者 吉田栄治を中心にスタッフ10名で、内レイカディア同窓生は小西紀夫（26期園芸）永田弘一（32期園芸）大野田眞（27期生活）活動協力者（緑のカーテン設置）佐藤成宣（32期生活）中野哲也（32期健康レク）以上5名です。

主な活動内容は①生ごみの堆肥化定例学習会を毎月実施して、市民に呼びかけ新しい方に対する導入説明や成功・失敗などの情報交換、新テキスト作り（H26. 第5版発行）を実施②学区・自治会での体験学習と実施後のフォローアップ講習会を行い普及に努める。③K小学校児童を対象に堆肥作り体験と出来た堆肥を畑に施肥してダイコン栽培し、収穫後はおでんパーティで交流する。④初夏は市立幼稚園、保育園、公共施設等の窓辺にゴーヤ、へちまで緑のカーテン作りを実施し省エネ活動を支援する。（市内22箇所）⑤市民農園で生ごみ堆肥を使用した野菜作りと収穫を体験する。



②学区・自治会



④保育園児による緑のカーテンづくり



③K小学校児童



⑤市民農園

今後の課題は生ごみ堆肥化を継続し広めるため冬場対策として発酵促進の改善策を進め、畑がなくてもプランターでの野菜作りで有機栽培による季節の味覚を楽しみながら生ごみ堆肥化に取り組む仲間作りが出来ればと思っています。

仲間づくりからボランティア活動

近江八幡支部 29期 園芸学科 高橋 作 榮
(近江八幡「おやじ連」代表)

平成19年NHKの「いよっ！日本一」という番組で、滋賀県の高齢者ボランティア参加率が日本一と紹介され、地域活動のリーダーを養成するレイカディア大学と、事例の一つとして近江八幡「おやじ連」の活動が放映されました。

近江八幡市では、平成13年度から退職男性の居場所作り、仲間づくりを目的として「おやじサロン」男の料理教室講座を開催しました。そこに参加した人たちがグループを組み、毎年1つのグループが誕生し、その人達を中心になってボランティア活動をするようになり、現在では26団体（会員：350名）になっています。無理せず、楽しく、仲間と一緒にボランティア活動、これが「おやじ連」です。



近くの里山を歩き、足腰を鍛え、ボランティア活動をする。八幡山・白鳥川・琵琶湖畔の景観を良くする活動など。一人一人が楽しく活動していることが評価されると、より一層やりがいを感じます。やらされていると思うと疲れるが、楽しんでいることは疲れない。ボランティアはやらせていただくものです。

毎月各グループの活動予定一覧表が配布され、活動日・時間・場所に集まった人達で活動する。事前予約もない、参加は自分が決める。あくまでも自分が主役である。

一人では出来なくても仲間と一緒にならでできることもある。レイ大の目的の一つには「仲間づくり」が大きいと思いますが、まずは初めの一步を踏み出すことが大切です。各グループにはレイ大OBが沢山参加して活躍しているので心強く感じています。

レイ大生のボランティア体験学習団体として受け入れしていますので、卒業後も「おやじ連」の活動へ参加して頂きますようお願い致します。

滋賀県の取り組み「健康寿命をのばそうプロジェクト」に参加をしよう。

近江八幡市退職男性グループ「おやじ連」2014				
平成14年	健康推進友の会「22」	料理教室	よし笛会	水曜サロン
平成15年	健康推進15会「13」	料理教室・よし笛会	近江里山を歩こう会	
平成16年	おやじ友の会「19」	料理教室・よし笛会	八幡山の景観を良くする会	
平成16年	生き生きクラブ「33」	八幡山・野間邸環境活動・おやじ喫茶	白鳥川の景観を良くする会	
平成17年	サルビア会「15」	料理教室	琵琶湖畔の景観を良くする	
平成18年	いとはんの会「16」	料理教室・よし笛会	市民生ゴミリサイクルプロジェクト	
平成19年	悠ゆう会「18」	料理教室	琵琶湖お魚探検隊	
平成20年	元気おやじ一休さん「19」	琵琶湖一周	木の實で遊ぼう会	
平成21年	近江ひまわり会「19」	料理教室・街並み散策	いまさかP	
平成22年	八幡会「7」	ウォーキング		
平成23年	安八いちまる会「29」	スポーツ・ボランティア・レカル		
平成24年	23元気会「18」	スポレク・カルチャー・ボランティア		
平成25年	AKO248「15」	スポレク・カルチャー・ボランティア		
平成26年	ボレボレ25「20」	料理教室		

中部支部

グループ・燦々の一員として

中部支部 33期 健康レクリエーション学科 宮田 郁子

私達健レク・三十三期生は、卒業と同時に、「地域の高齢者等を支援するシニアグループの新規立ち上げを助成する、滋賀県社会福祉協議会に「グループ・燦々」として登録しました。レイ大で学んだことを地域貢献活動として活かすと共に、何よりもメンバーがボランティア活動を通じて社会に繋がり、生きがいを持ち続け、生き生きと楽しく過ごしたいという思いからです。東近江市でも三八・八度を記録した猛暑の中、第二回米原校大学祭が開催され、最終日の八月一日、在校生の地域体験ステージ発表会に、私達は卒業生代表として発表する機会を与えられました。全員が小劇場に集合し、「卒業後、私達はレイ大での学びを、地域でどの様に活かしているか」を発表し、併せて、「創作ダンス・リズム体操三三」と「南京玉すだれ」を披露しました。東京オリンピックには全員で行こう！を合言葉にしています。



「明るく元気に輝いて生きる」

中部支部 29期 生活学科 伊勢 昌代

3年前公民館講座として始まったマジック、ボケ防止になればと参加、月2回の基本トレーニングを積み、だんだん面白くなってきた。

このメンバーの中にレイ大卒業生が6人もいたため「レイ大OBマジック会」としてボランティア活動を始めることになった。あちこちの老人会、サロン、施設、サマーホリデー等で披露している。

初めは芸そのものに一生懸命の余り笑顔やトークどころではなかったが、今年の8月は4回も声をかけてもらい少しは上手くなってきた様である。目の前で大喜びの顔々、大拍手、又来てねと声がかかる。すなわちこれら全部が自分自身の喜びとなり、よしこれからもと思う。

年をとれば自分のことだけしてはつまらない。それより人のために周りの仲間と共に何かやることがある。何とすばらしいことだろう。

老いは努力なしには迎えられない。明るく元気に輝いて生きるため、無理なくがんばりたい。76才の決意でした。



私のボランティア

中部支部 29期 園芸学科 安井 武市

今年も忙しい一年が始まっています。町内の神社の氏子総代始め、願い寺である福寿寺の檀中総代、地区老人会ふれあい部グラウンドゴルフ同好会会長、社会福祉協力委員とレイ大同窓会中部支部の支部長を預かり眼の廻る毎日です。

グラウンドゴルフ同好会は、地区七町から六十名が毎月二回あちこちの公園やグラウンドで汗を流しています。休憩時には地区での出来事や畑仕事の話に花を咲かせ親睦を深めています。年二回クレフィール湖東でグラウンドゴルフ大会を



開催し、お酒を飲みながら食事会で楽しい一日を過ごしています。

町内の社会福祉協力委員の活動も四年目に入り毎月一回のふれあいサロンの企画には頭を痛めています。毎回三十人程の方が参加して下さいます。市の出前講座や社協の出前ボランティアの協力を得て十一時から十五時頃迄公民館で楽しくおしゃべりをしながら食事をして一日を過ごして頂いています。皆さんふれあいサロンの日を楽しみにして下さいます。

畑仕事をするも、趣味を生かしたボランティアするも、地域の活動に参加するにも体が健康でないとありません。ウォーキング・水泳・ゲートボール・グラウンドゴルフ等自分にあったスポーツを仲間と楽しくやりながら九十歳現役を目指して頑張りましょう。私もグラウンドゴルフを月四～五回ホールインワン目指してフルスイングしています。

この様な色々な事をさせて頂けるのも、二年間レイカディア大学で学び、素晴らしい仲間に出逢った事のお陰と感謝しています。



湖東支部

観光案内ボランティアで頑張っています

30期 地域文化科 辰巳 公子

「とても楽しいガイドありがとうございました。」「彦根城のこと良くわかりました。」と言って頂いた時、足や膝が痛くても、「ヤッター」と心の中で叫び、お客様を笑顔でお見送りします。時には、「ありがとう」のお便りが届くんですよ！

彦根生まれの彦根育ち、でもガイドをするまでは、彦根の深い深い魅力を知らなかった。ガイド養成講座に参加してから10年になりますが、最初は一夜漬けでマニュアルを覚えて人前で話す練習をしました。その後は研修会や講演会に参加して、少しずつ内容をふくらまし、自分なりのガイドをしています。

彦根のガイドは彦根城だけではないのです。ご城下巡回バスの乗務、佐和山詰所、表



門での常駐、俳遊館の運営、花の生涯ウォーキングコース、彦根宿場巡りコース、ご城下寺院拝観コース、今春になって「多景島めぐり」が大変好評になっています。

彦根大好き！ガイド大好き！の私ですが一年一年体力が衰えてきます。

「おもてなし」の心を持ってお客様に喜んで頂き「体力」と「ど忘れ」と戦いながら、いつまでも楽しい一時を過ごしたいです。

三問質問します。

- ① 護国神社の前の大きな石の橋は、途中で切れています。なぜでしょう。橋の残りは、どこへ行ったでしょう。
- ② 二代藩主井伊直孝の時代に47本の松が植えられ「いろは松」と呼ばれています。役割は、何でしょう。
- ③ 参勤交代で、江戸から彦根に帰られる時、お殿様は、お駕籠をどこで下りたでしょう。馬はどこで下りたでしょう。

答えは、レイ大卒業生の彦根ボランティアガイドの人に聞いて下さい。

❁ 湖北支部

川祭に参加

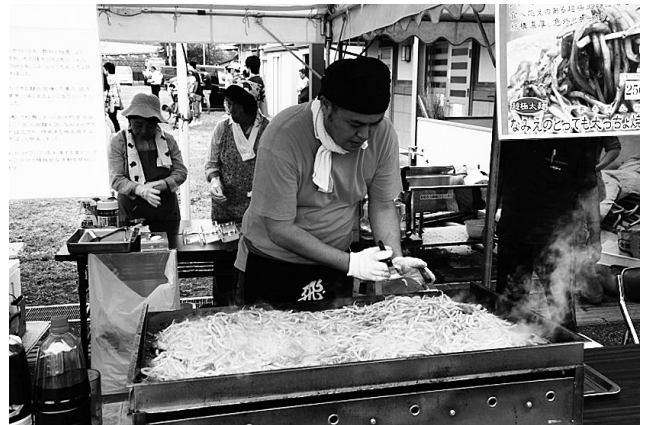
26期 園芸学科 吉田 英治

6月7日(土)に、米原市一色の「SCプラザ」で開催された「川祭り」に健生協と福島避難者の会で参加しました。

この「川祭り」は数十年前から、地域の人たちと交流と親睦を図るために「天野川」沿いで、魚つかみ、屋台店等で賑やかに実施されてきており、地域住民の楽しい行事として、定着してきました。

今年は、健生協と福島避難者の会のメンバー高野氏が「福島浪江町太っちょやきそば」を実演、販売したところ、準備した150食がまたたくうちに完売するほどの人気でした。

このイベントに参加して、被災の福島の人たちの苦悩が少しでも理解された事と思います。



高島支部

水害被害の後遺症とボランティア

高島支部 足立 清勝

昨年の台風18号の影響は高島市に大きな被害をもたらしました。中でも高島地域では鴨川の決壊による水害で鴨・永田地区は住宅、工場、水田が濁流にのまれ甚大な被害に見舞われました。

多くの家に大量の泥が入り、田畑も泥で折角のお米も収穫不能になってしまいました。泥に埋もれた家々に市内はもちろん県内、県外からも大勢の人々がボランティアとして来て下さり、泥まみれになりながら泥かき作業して下さった皆さまに感謝いたします。また、レイカディア大学の現役生、同窓会の皆さんにも多数のご参加をいただき、復旧のお力添えを頂きましたことに感謝申し上げます。

被害に遭われた方々と後日お会いしたときに「今まで他人ごとのように思っていたことが現実自分に降りかかった時、これほど人からいただいた助けが身に染みてありがたかったことはありません。自分の家だけでも延べで100人以上の方々にお世話になって本当にありがたく感謝しています。」と語っておられました。

今年の6月、高島市の社会福祉協議会を通して、同じく被害に遭われた地域で一人暮らしの高齢者の方より「水没した竹小屋の解体撤去処分をお願いしたい」と連絡がありました。設定された日の朝、現役生2名、同窓会員4名が出役に応じて下さり現地に赴きました。竹小屋はびっしりと竹類が入っており、その竹には泥が詰まって完全に乾き切って埃まみれ、もうもうと土



煙の上がる状況でした。

暑さと埃の中での大変な作業でしたが出て頂いた皆さんは黙々と作業してくださり、昼食も取らず午後1時半ごろまでにすっかりきれいに片づけて頂きました。

出役いただきました皆さん本当にありがとうございました。

後日社協を通じて依頼者の方より感謝の言葉を頂きました。

昨年の水害から1年が経ちましたが、今も日本の各地で大雨による水害や噴火による被害が伝えられています。

私たちの身近な所でもいつまたこのような事態が起こるかわかりません。お互いに十分に気を付けて助け合える体制づくりをしたいと感じています。



レイカディア大学同窓会ホームページの開設について

開設趣旨

びわこシニアネット内のホームページ内にレイカディア大学のページがあります。

http://www.e-biwako.jp/04_daigaku/index.html

この中でレイ大同窓会の一部の支部の活動状況を掲載依頼していますが、レイ大のホームページは基本的に在校生向けの内容が中心です。

本年度の同窓会方針でもある「会の活性化」、「支部間交流」、「会の魅力向上」などの実践ツールとして、新規に独自運営する「レイカディア大学同窓会専用のホームページ」を開設することになりました。

背景、期待効果

1. 最近サポート隊がパソコン教室を開いたり、パソコンでの報告書提出など、パソコンを有意義に使える卒業生が増えている。
2. メールを始め、OB間のコミュニケーション手段はパソコンネットワークによるところが普通になり、レイ大OBも例外ではない。
3. 会報などに併用して、速報性、無制限の記事量、低コストのHPは会員向け、一般向けの広報活動として効果が期待できる。
4. 各支部活動をタイムリーに公開することにより、会の魅力を伝えて会員間の交流活性化、会員増加の効果としても期待できる。

ホームページの有用性

1. 定期発行の機関紙では不可能な速報性、多くの写真や動画などの掲載ができる。
2. 支部内だけでなく、他支部の様子も知ることができる。
3. 情報の個人保存不要、いつでも過去の記録を閲覧したり印刷できる。
4. 経費的に難しい配布物のカラー化についても画面では実現できる。

同窓会ホームページ開設にあたって

1. 専用サーバー、ドメインの契約
サーバーおよびドメインの契約費用として、[約9000円/3年契約]を支出しました。
2. ホームページ担当者の決定と支部単位の更新
 - ・本部広報部会内にHP担当を置き、ホームページ全般の運営を行います。
 - ・各支部ごとにホームページ担当者を設け、各支部内の総会報告、地域活動、会員間活動、支部発行の会報などを公開していただく。
 - ・ホームページの作成、サーバー更新などについては要望あれば講習会も可能です。
 - ・ホームページ形態でなくても、易しいブログ形式でも結構です。

レイカディア大学同窓会のホームページのURL
<http://lacadia-dousoukai.com/>

会員だより

✿ 大津支部

勇気と感動を有難う

26期生活学科 堀口唯子

80歳にして3度目のエベレスト登頂を成し遂げた三浦雄一郎さんは、今だなお記憶に新しい方です。80歳を超えたエベレスト挑戦には多くの方たちから応援があったそうです。昔からの仲間や友人、資金を提供されたスポンサーなど皆一様に「無理するな、生きて帰ってこいよ」と出発の時に言ってくれました。「登ってこい」と言った人は皆無だったようです。しかし内心、三浦さんは無理に無理を重ねなければ登れないし、死ぬほど苦しい思いをしなければ登れるわけがないと考えておられました。そして、その通り無事に登頂は出来たものの、生きて帰ることは死ぬより苦しいことだったのです。

人は限界を超えたとき、どこまで頑張ることができるのだろうか。80歳の三浦さんにとって地球最高峰エベレストはご自身の限界をはるかに超えた登山であったが、山頂を目指しているときは不思議に限界を感じなかったそうです。魂の力で登りきることはできたが下山は苦しかった。身体から全てのエネルギーが流れ出たかのごとく力が入らない、動かない。しかしここで諦めるわけにはいかない。標高8,650メートル地点で、氷の壁にぶら下がっている数日前に亡くなった登山家の遺体が教えてくれる。諦めたらこうなるんだと。あの苦しさの中では「絶対に生きて還る」という強い意志がなければ、死の誘惑に負けて自分は戻ってこれなかっただろう。



病気のときもそうなのかもしれない。死の淵の苦しみの中で、どうしても生きるんだ、という意志がなければ回復はできないと言われている。三浦さんのお父さんである敬三さんは90歳から97歳までのあいだに3度もスキーで骨折をされた。通常90歳以上の骨折はまず治らないと言われる。ところが完治すれば大好きなスキーができること、そして夢である99歳でのモンブランのスキー滑降はどうしてもやり遂げたいと目標を立てていた。この強い思いこそが90歳過ぎて3度の骨折を克服し、ついに白寿のモンブラン滑走を果たされたのです。お父さんの生き様は三浦雄一郎さんに大きな力を与えたのでしょう。自身も夢の実現のため4度にわたる心臓手術、骨盤・大腿骨付根の骨折を乗り越えることができました。

年齢や病気などの大きな障壁があっても、夢に向かったの強い思いがあれば、可能性は無限大である。できない理由よりできる理由を考え、幾つになっても生きがいと夢を持ち続ければ、人生の輝きはきっとそこにあると三浦雄一郎さんは言われています。

テレビ映像では、テントの中で息子さんと意外にも手巻き寿司を食べておられたこと、そして頂上では酸素マスクを外して立っておられたことが印象に残りました。私にとって三浦雄一郎さんは心から敬服出来る方ですので、お名前を忘れることはないでしょう。いつまでもお元気でお過ごし下さいますことをお祈りします。

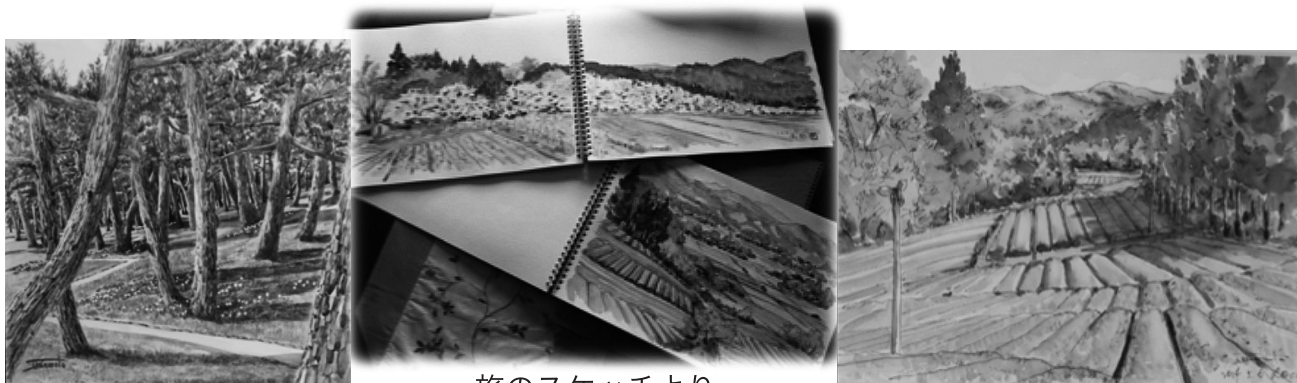
「三浦雄一郎さんプロフィール」

1932年10月12日生まれ。64年イタリアのスピードスキー大会に初参加で当時の世界新記録を樹立。70年エベレスト8,000m世界最高地点スキー滑降を成し遂げ、その記録映画「THE MAN WHO SKIED DOWN EVEREST」はアカデミー賞を受賞。85年世界7大陸最高峰のスキー滑降を達成。13年80歳にして3度目のエベレスト登頂を果たす。（冊子より抜粋）

いきいきと趣味の絵画生活

34期園芸学科 梅本輝夫

今回作品の一部の投稿をお願いしました。



陽の差す小径

旅のスケッチより

西美濃初夏

梅干し作り

24期生活学科 桐畑 実

梅干し作り始めて10余年、きっかけはNHK今日の料理で梅干し作りが放送され、効能のあること、昔の人の知恵を知ると同時に、最近は梅干しに限らず、店先に並んでいる食品添加物の多いこと、又各家庭で手間のかかる梅干し作りが敬遠されているのは忙しい現代では仕方ないと思うが、当方梅干し好きだし、暇もあり挑戦したいと考えて、石の上にも3年の積りで始めた。手間が掛るが一粒ずつ大切に作る楽しみ、食べる楽しみ、食べてくれる楽しみ(子・孫)

梅干し作りは奥が深い、品種、熟度、塩分、土用干し、梅干しと言うので、干さない梅干しは梅干しではない？ 近年まで三日三晩の土用干し、満天の星が夜露をプレゼントしてくれるぐらいの天気続きで、夜中の雨など心配せずに干せたが最近の天候不順は困る。

しかし何とか平年並みに作れるようになり今年もよい塩梅(アンバイ)に作れた。又副産物もうれしい、特に赤じそをカラカラに干したしそを擂り鉢とすりこぎで砕き万能こし器を通して粗いもの、細かいものを作ると市販のものより香り高い風味で密閉瓶で永く保存できる。

この時期(七月下旬)になると前年の瓶が返ってくる、これがうれしくて、又来年も作ってやろうと、今から楽しみにしている。

今年は15kg、うち変わり梅干しとして氷砂糖入りを5kg作ったが氷砂糖入が好評だったので、来年はもう少し増やそうと又、塩分も、夏は少し多く後は控え目に、梅も大きさも考えて一定でなく大小半々で20kg作って皆んなが食べたいし、元気で、作れる楽しみを持ち続けたい。



執筆中の桐畑さん



お手間入りの完成品
梅干しの複製品

足 跡

第24期 文芸学科 富田 豊

21世紀の元年の秋にレイカディア大学との縁が生まれ、卒業後12年が経ちました。中学時代に社会科の授業で習った「政治・経済・文化」の基本的な社会事象を心に、今までの人生を回顧しますと、私の生涯を左右する職業の選択も、入社7年後の名称（株）ヨシダヤの社長が学校の先生に伺って来たからと直談判で、即入社を決めいわゆる文化系職である印刷の道に進みました。

戦後の復興が道半ばの頃から奉職して30年、退職前から導入していた印刷機を使い内職形態を保ちながら、両親が永々と守ってきた農業分野を継承して今日に至っております。74歳の今だから言えることですが、「政治・経済・文化」の均整のとれた発展こそが真の国の繁栄に結びつくと思いますが、我が国も23年前のバブル崩壊以来依然として経済優先政策が続いており、県内でも南高北低の経済情勢が四半世紀以前から続いております。

昭和61年から農業を本格的に取り組みました。当時は政府へ売り渡す米価も高額で推移しており、恵まれた時代であった。政府売却が廃止となり逐次米価も値下がりして、今年度は米作の採算割れ価格となっている。農家の最悪年である。

2011年度から3年間高島支部長を歴任させて頂き、会員諸氏の心温まるご支援やご協力に接し、誠に有難く、幾重にも感謝申し上げます。

編集後記

2014年の暮れは、思いがけない総選挙で終わることとなりました。この「機関誌・會報」が会員の皆様に届くころには、2015年以降の世の中のかじ取りを委ねる選良の人たちが、悲喜こもごもで、新年を迎えていることと思います。

滋賀県レイカディア大学同窓も2014年度から新体制となり、新しい動きを試みていくとなりました。また同窓会員も第35期生は195名の卒業生の内165名が新入会員の仲間入りをしてくださり、総員1550名余を数えることとなり活動のマンネリ化に新風を吹き込んで、活性化に向けて期待が膨らむところであります。

また、専門部長を本部会長・副会長が兼務することとし、情報収集や部会運営の効率化を図って、参ることになりました。

つきましては、広報部長を同窓会々長が担当することし、広報委員会の議事録に従って原稿募集や、紙面構成、初校までの準備を進めることに致しました。

これからも魅力ある「機関誌・會報」を目指して、広報部一体で努力してまいりますので、よろしくご愛読くださいますようお願い申し上げます。

次回、第32号は2015年12月発行を目途に取り組んでまいりますので、建設的なご意見ご提案を頂きましとともに、楽しみにお待ちしておりますようお願い申し上げます。

広報部会一同

堀江 勇夫	佐瀬 章男	西村 満子	中山 幸夫	奥本 静子
荻原 正博	三野 良雄	宇野 幸彦	増田 澄男	教野 弘孝(H P 担当)

**滋賀県レイカディア大学同窓会
『會報』31号**

発行：平成27年1月
編集：滋賀県レイカディア大学同窓会
同窓会事務局
(滋賀県レイカディア大学本部)
〒525-0072 草津市笠町七丁目8-138
TEL. 077-567-3939

印刷：八身共同印刷
東近江市林田町1895
TEL 0748-22-5205

